

求める会ニューズ No. 965

2019年度新代表のご挨拶

近藤 幸子

今年度新しく代表になった逆瀬川グループの近藤幸子です。

1974年、食品公害や環境破壊の深刻さを学習した、子育て中の30代、40代の主婦が中心となって、セミナーの講師で、自然に近い餌の卵の生産者から卵を共同購入することとなり、「食品公害を追放し安全な食べ物を求める会」を設立しました。活動の基本理念となったのが「共同購入の四原則」でした。

- ① 委託の関係を確認すること
- ② 安全に対する対価を認めること
- ③ 負担は平等にすること
- ④ 運動の輪を広げる努力をすること

会員数は1600人。

翌年、「市島町有機農業研究会」が発足。生産者は33名でした。野菜・米・氷上酪農の牛肉・淡路島のミカンなどの生産者と提携を結び、品目を増やしていきました。

1990年、市島町のゴルフ場建設問題で市有研は分裂して14名になり、求める会は81グループ、1400人、野菜購入は450世帯でした。会員数は減少傾向でした。

1995年の阪神淡路大震災の時は、直後に生産者から支援物資、お見舞い金や励ましの言葉をいただき、提携のありがたさを感じました。しかし、会員は604名から480名に減少したため、野菜のコンテナ化を導入し、57グループ、315口で開始。事業部の商品の取り扱いなどで会員の減少分をカバーしました。

会員を増やすこと、配送費の赤字解消は、この頃から会の課題となりました。

2014年は野菜のコンテナ数は79グループ（大コンテナ35 小コンテナ94 合計129口と、月1回が6コンテナ）、2019年は58グループ（大コンテナ21 小コンテナ82 合計103口）です。

2017年、配送費の値上げなどでは赤字は解消できず、配送を協栄運輸から「あしの会」に委託することになり、赤字の軽減になりました。

しかし、会員の減少（今年度210名）と高齢化による購入金額の減少傾向には歯止めが効かず、このままでは会の存続があやしくなりました。

設立当時、会員は30、40代の子育て世代でしたが、45年たった今、求める会の今後をどうするか、ここ数年の間に方針をはっきり決めるべき時期だとの考えになりました。

会の存続、解散を含めた求める会の今後の在り方について、提携している生産者や会員、配送を委託している「あしの会」と話し合い、お互いが納得できる方向を考えていきたいと思っています。

来年度の総会において、会の今後を決定するための大切な一年になります。この一年よろしくお祈りします。



2019 年度総会報告

《1》日時 2019 年 5 月 25 日（土）10：30～14:00

《2》総会次第

1. 開会のことば 司会・小原恵子（加古川東 G）

会員数 210 名中、出席 41 名、委任状提出 108 名、計 149 で過半数により総会成立

2. 代表あいさつ 大野貞枝（潮見町 G）

3. 来賓紹介 一色富士夫さん、橋本慶子さん（以上市有研）、ポールさん（橋本農園研修生）、京村真光さん（牛肉生産者）、影山陽美さん（影山製油所）、高木力さん（米、大豆生産者）、池野創人さん（米生産者）、浄慶耕造さん（大徳醤油）、小松匡位さん（リンゴ生産者）、奥谷勉さん（あしの会）、吉田拓洋さん（丹波乳業）、山内さん（兵有研 HOAS）、中村文子さん（つどいの会）、近藤和美さん（中央大学教員）

4. 議長選出 推薦により、横山節子さん（桜木町 G）に決定

5. 議事

（一号議案）2018 年度活動報告（案）（総会資料 P. 1～6） 岩本美樹子（松浜 G）

（二号議案）2018 年度会計収支決算報告（案）

・一般会計 ・特別会計 ・「いわきの初期被曝を追及するママの会」会計
（以上、総会資料 P. 7～9） 吉川真喜子（会計・青谷 G）

・「新企画活動」会計（同 P. 9） 飛田みえ子（鶴甲団地 G）

・共同購入会計（同 P. 10～11、P. 13～14） 東山真紀子（共同購入会計・松浜 G）

（三号議案）会計監査報告（同 P. 11） 近藤幸子、横山美子（以上逆瀬川 G）

※一～三号議案は拍手で承認された。

（四号議案）2019 年度世話人の承認（総会資料 P. 12）

2019 年度世話人の紹介 近藤幸子（新代表・逆瀬川 G）

※四号議案は拍手で承認された。（新世話人名簿はニュース別刷に掲載）

（五号議案）2019 年度活動計画（案）（同 P. 15） 飛田みえ子（新副代表・鶴甲団地 G）

（六号議案）2019 年度一般会計収支予算（案）（同 P. 16） 吉川真喜子（会計）

※五～六号議案は拍手で承認された。 一議長退席一

6. 新代表あいさつ 近藤幸子

7. 事務報告および連絡事項 岩本美樹子（新副代表・松浜 G）

8. 閉会のことば 司会・小原恵子

【午後の部 昼食・交流会&映画会】司会・庄谷恵美子（大久保 G）

昨年に引き続き、好評だった会員手作りのちらし寿司、デザート、果物、リンゴジュース（小松さん提供）を囲んでの交流会。生産者の皆さんからは「自然災害、獣害が続いている中、気持ちを切り替えて頑張っているのに、求める会を存続するか否か、という話を聞いてがっかりしている。何とか頑張ってほしい」（市有研・橋本さん）、「今、世界中で変革の動きがある。求める会は世の中を変える運動を 40 年以上前から続けてきた。

何とかこの運動をやめないでほしい」（近藤和美さん）という言葉が多く聞かれました。

午後 1 時から、DVD「種子—みんなのもの？それとも企業の所有物？」を鑑賞しました。ひと握りの多国籍企業による種子の独占が進み、日本では種子法が廃止され、種子の多様性が失われようとしている状況に、市民がもっと目を向けなければならないと考えさせられました。



市島町有機農業研究会（市有研）30年度 第44回総会 報告

日時： 平成31年4月12日(金曜日) 11:30
場所： ライフピアいちじま
生産者： 市有研・一色 橋本慶子
参加者： 求める会・岩本 小浦 岡部 集いの会・中村 巽

桜が満開の市島。行き帰り眺めた桜並木も満喫しつつ、いい所だな～と思いを新たにしました。

総会は事業・会計報告等滞りなく終了。生産者から、大谷さんが辞められて2名で対応し、量的にはやっていけた。去年の天候異常・不順（長雨・2回の台風）で被害も受けたが、これからも頑張っていくと。又、求める会から、食は命、美味しい安全な野菜があるからこそ食べ続け、伝えていきたいと。お互い信頼、協力していきましょう。次年度の事務局は橋本さん。
(センターG 岡部 真理子)

食料環境セミナー報告
「食べられる野草を知ろう」
・食料危機を前にして」
使い捨て時代を考える会
相談役・槌田劭さん
5月24日（水）10:30～12:00

この時期になると我が家の日当たりの悪い小さな庭でも一斉に雑草が育ちます。何とかできないかと思う草も有りますが、花が結構可愛いものも有ります。

そんな時このタイトル、早速参加してきましたが、話は終戦の玉音放送から始まり、放送があったき男性達はうろたえていたが、女性達はすぐに普段の生活に戻りお昼の用意を始めたことが印象的で、威張っている人は信用してはいけないということ学んだとのこと。

安倍首相の祖父の岸信介は東条英機と組んで満州統治を行い統制経済を始めるなど戦時体制を進め、本来なら戦犯で死刑になっていたはずなどと話は横道にそれたりしながら、戦後の民主主義が豊かさを追い求める金本主義に変わっていった。しかし私には石油を始め限られた資源に頼るこの豊かさが続くとは思えず、

持続可能で金に縛られない産業として有機農業に注目し、「使い捨て時代を考える会」を立ち上げた。

野草の生き方は民主主義と同じで、それぞれが様々な個性と能力を持っている。

少し齧って食べられるものは畑に植え、30年かけて野草を集め毎朝野菜ジュースとして飲み、摘んだ跡には茄子やブロッコリーなど野菜を植えているがこれが良く育つ。

40年前に世界がひどい状態になった時にどう生きるかを考え、「健康（バランスが取れている状態）でなければいけない」と答えを得て今まで生きてきたと話を終えられました。

質問の時間を利用して、畑から持参された25種の野草の説明があり、説明を受けながら少しずつ葉をちぎっていると辺りにいい香りがしてきました。

名前を聞くとヨモギ、ハコベを始めほとんどの草の名前にはなじみがあり、昔の人にはれっきとした食べ物だったのが、私には見分けがつかず、食糧難になったらハコベが横に生えていても餓死しているかもと考えてしまいました。

(松並G 池田 真知子)

6月のカレンダー



- 6月12日(水) 部会
- 6月15日(土) みんなの低温殺菌牛乳協会総会(学生青年センター)
- 6月19日(水) 全体会
- 6月20日(木) 共同購入申込締切日
自動引き落とし日
- 6月26日(水) 食料環境セミナー
- 6月30日(日) 灘チャレンジ

6月全体会議題

- ・総会の反省
- ・会の今後に向けての具体的な動きについて
- ・初夏のつどいについて

イチゴの箱はお返しくささい

イチゴの空き箱は、あしの会の配送担当の人にお渡しいただければ、求める会事務所に小林さんが取りに来られます。資源を無駄にしないためにご協力をお願いします。

2019年度総会は無事終了いたしました(詳細は2面をご覧ください)。お忙しい中、遠方から出席くださいました来賓の皆さまに御礼申し上げます。

「すべてのゲノム編集食品の規制と表示を求める署名」ご協力をお願い

呼びかけ団体: 遺伝子組み換え食品いらない! キャンペーン、日本消費者連盟

求める会ニュース6月号に署名用紙を同封していますので、署名にご協力ください。第一次集約は8月31日で時間がありますので、署名済みの用紙は、返却の封筒に入れて送り返すか、全体会の折にお届けください。FAX送りでもOKです。(求める会事務所あて)

暑い日が続きますので、牛乳のステーションでは必ず保冷剤を用意してください。



甘夏の追加注文受け付けています

TEL 078-822-0810 (火・金 10~15時)
FAX 078-822-0810、078-842-2430

みんなの低温殺菌牛乳協会 第5回 定時総会

日時: 6月15日(土) 13:00~15:30
場所: 神戸学生青年センター ホール
第1部 総会 13:00~13:40
第2部 映画上映会 14:00~15:30
「種子—みんなのもの?それとも企業の所有物?」
会費: 500円 定員 30名
上映後パスマルクカフェにて懇談会
※会員、メンバー以外の方は要申込み(6/10締切)
連絡先: 高石 090-1029-3402

食料環境セミナー

「日本の食料の未来のために」
「Bio creators の CSA への取り組み」
6月26日(水) 10:30~12:00
ナチュラルズファーム 大皿 一寿さん
会場: 神戸学生青年センターホール
参加費: 600円
主催: (公財) 神戸学生青年センター

灘チャレンジ2019

6月30日(日) 10:00~16:00
@都賀川公園
求める会から事業部が参加します